

別記様式

		担当課	健康づくり課
会 議 の 名 称		令和6年度第2回鴻巣市地域保健推進協議会	
開 催 日		令和7年2月3日（月）	
開 催 時 間		午後 1時25分 開会 ・ 午後 2時 2分 閉会	
開 催 場 所		鴻巣保健センター 1階接種待合室	
議長(委員長・会長)氏 名		議長（会長） 清水 浩	
出席者(委員)氏名 (出席者数)		清水 浩、松村 浩基、島崎 淳、下村 正司 大島 幸雄、古澤 近、秋池 恵美子、山川 英夫（8名）	
欠席者(委員)氏名 (欠席者数)		（なし）	
事務局職員職氏名		健康福祉部長 木村 勝美 健康福祉部副部長 服部 和代 健康づくり課副参事 中根 洋子 健康づくり課副課長 吉野 純子、福田 真弓 健康づくり課主査 萩原 敬子 健康づくり課副主査 大渡 のぞみ 健康づくり課主任 内田 有里恵 健康づくり課主事 関根 理菜 こども未来部子育て支援課主幹 門倉 もも子 （10名）	
傍聴の可否 (傍聴者数)		可（なし）	
会 議 の 内 容	1 開会 2 議事 （1）令和7年度における第2次鴻巣市健康づくり推進計画及び 第2次鴻巣市いのち支える自殺対策計画の事業実施案について （2）吹上保健センター閉所について（報告） 3 その他 4 閉会		

●議事

(1) 第2次鴻巣市健康づくり推進計画及び

第2次鴻巣市いのち支える自殺対策計画の事業実施案について
事務局より【資料1・2・3】に基づき、令和7年度の実施計画について説明。

(会長)

高校生の朝食摂取率の現状値はどの程度か。【資料2】①-8)

(事務局回答)

7割程度である。小学生は9割程度であり、中学生、高校生と年齢が上がるにつれて低くなっていく。

(会長)

離乳食教室の対象は乳幼児期も対象ではないのか。【資料2】②-6)

(事務局回答)

乳幼児期も○を追加する。実施対象は青年期、壮年期である。

(会長)

がん検診事業について、胃がん・肺がん健診の受診率が悪いが何か対策は考えているか。

(事務局回答)

受診にあたって説明が必要であり、胃がん検診はバリウム検査のため、乳がん検診のような当日受付が難しく行っていない。

(健康福祉部長回答)

興味を持ってもらうという意味で、おおとり祭り等でのパンフレット配布をしたり、NHKのテレビ番組で放送していたがん検診普及プロジェクト「あしたが変わるトリセツショー『がんのトリセツ』」に鴻巣市も参加したりするなどのがん検診啓発を行った。これにより受診率向上を目指したい。

(2) 吹上保健センター閉所について

(委員)

閉所後の業務変更先について、川里支所は載っていないがどのような扱いになるのか。

(事務局回答)

今まで通りである。

●その他

以下について事務局よりお知らせした。

- ・ 3月14日17:45～鴻巣駅、吹上駅で自殺防止キャンペーンを行う予定。

	自殺率の高いサラリーマンや中高年層、自殺未遂者の多い若年層の通勤、通学者の帰宅時間をターゲットに啓発活動を行うもの。 ・ 次回会議日程について 令和7年8月頃開催予定 案内は後日送付。 閉会 (会議時間 0時間32分)
配布資料	・ 資料 【資料1】第2次鴻巣市健康づくり推進計画進捗管理表 【資料2】第2次鴻巣市健康づくり推進計画進捗管理表 食育事業実施計画 【資料3】第2次鴻巣市いのち支える自殺対策計画進捗管理表 【資料4】吹上保健センターの閉所について 《当日配布》 ・ 次第 ・ 委員名簿 ・ 席次表 ・ 鴻巣市地域保健推進協議会条例 ・ 差し替え【資料1】3ページ、【資料3】2，3，5，7ページ